



## ～ オガサワラオオコウモリの被害予測カレンダー ～

亜熱帯農業センター内での3カ年の調査や生産者などへの聞き取り調査から、主に果樹におけるオガサワラオオコウモリ（以下、オオコウモリ）の被害予測カレンダーを取りまとめましたので報告します。なお、このカレンダーは農業センターにおける調査からの一事例のため、圃場条件や栽培管理状況、年次等により被害時期が異なる可能性があります。

カンキツ類に関しては、主に成葉（若い新葉を除く全ての葉）と花が加害されます。菊池レモン、ブンタン類およびオレンジ類は、成葉があれば常に加害される可能性があります。なお、ブンタンに関して被害が無い時期は、自然植生の餌に依存していると推測されます。タンカンに関しては、葉は加害されず、主に果実（一部花）が加害されます。

マンゴーは、果実が加害されますが、現在多くの生産者が害獣対策用のプラスチック製ネットを設置して被害防止対策をしてい

るため、以前ほどの被害は発生していません。

グアバに関しては、葉や花は加害されず、主に果実（肥大中期以降の未完熟果含む）が加害されます。なお、グアバ（キバンジロウも含む）の種子が排出物に混じって自然植生に分散されることから、生態系保全の観点からも加害を防ぐ必要があります。

バナナに関しては、花蕾・葉のいずれも加害されるため、年間を通じて加害されると推測できます。

このように、農作物ごとに被害時期や被害部位が異なることがわかりました。樹はオオコウモリに葉を食害されると衰弱し、ひどい場合には枯死に至ります。他方、果実が食害されると自然界に種子が拡散し、生態系に悪影響を及ぼすことが懸念されます。このような被害を軽減し、オオコウモリとの共生を図る農業について、今後も研究していきます。

＜大林＞

樹種	部位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ブンタン	葉												
柳橙オレンジ	葉												
菊池レモン	花, 葉												
タンカン	果実												
マンゴー	果実												
グアバ	果実												
バナナ	葉など												

図1 オガサワラオオコウモリによる各種果樹の被害時期（主に亜熱帯農業センターでの事例）

注1：年により被害時期が前後するため始まりと終わりの時期は幅を持たせてある（色が薄い部分）。

注2：柳橙オレンジおよび菊池レモンは成葉を食べ尽くす。新葉は食べないため被害が無い空白期が生じる。

## ～ 小笠原の養鶏事情と適正管理への取り組み ～

東京竹芝から約 1,000km 離れた小笠原諸島での養鶏は、飼料費がかさむことや内地出荷に運送費がかかること等から、必ずしも効率的ではありません。しかし、島内に限るとスーパーや宿泊施設、飲食店等で新鮮な卵を求める島民や観光客が多いことから、園芸生産者や民宿経営者がサイドビジネスとして少羽数養鶏に取り組む事例が数多く見受けられます。

現在は、父島・母島あわせて約 40 戸の生産者が約 400 羽の鶏の飼育に取り組んでいますが、亜熱帯ならではのさまざまな問題に直面しています。例えば、5～6月の梅雨時期には熱さと蒸れにより風通しの悪い鶏舎環境で死亡事故が頻発します。直近の事例を一部紹介すると、5月下旬には家禽鶏を放し飼いにしているAさん宅（父島）において鶏数羽の死亡事故があり、6月中旬にはBさん宅（父島）で約 10 羽の死亡事故がありました。死亡するとハエが発生するなど鶏舎の衛生環境も悪化します。事故後はいずれも鳥インフルエンザの検査を実施しましたが、結果は陰性で大きな問題とはなりません。しかし、今後このようなことが発生しないように、対策を講じる必要があります。

畜産指導所では、鶏の暑熱対策やハエ等の衛生害虫対策を施した望ましい少羽数養鶏の現地実証と普及に努めています（写真1～2）。鶏小屋では鳥が熱さや蒸れから逃れて身を休めるスペースを確保し、放し飼いにする場合においても、他の野鳥との接触を避けるために網で囲うなどして、鳥インフルエンザなど危険な病気の感染を防ぎます。

畜産指導所は、家畜保健衛生所、小笠原支庁産業課、保健所など関係機関と連携して鳥

インフルエンザ対策の体勢を整備し、野鳥・野ネズミ等の侵入を防ぐ物理的方法や消毒薬を使った衛生管理等に関する指導を行っています。適切な飼育は生産者全員で実践していくことが重要です。生産者ひとりひとりの適正な飼育管理が小笠原の養鶏産業を守り、安全で安心できる食品流通と観光産業を支えることになるからです。

養鶏を行う生産者のみなさん、適正管理へのご協力、よろしく申し上げます。なお、飼育鶏に異変がありましたら、畜産指導所もしくは小笠原支庁産業課にご一報いただきますようよろしくお願いいたします！ <吉田>



写真1 望ましい鶏舎の一例（上部遮光し、側面の風通しと鶏の休息スペースを確保。野鳥等の侵入箇所はつくらない。）



写真2 衛生管理の一例（鶏舎入り口付近に作業靴の消毒場所を確保する。）

## ～ レイシ(ライチ)の栽培・試験について ～

農業センターでは、季節を通じて亜熱帯の果物を生産するための研究に取り組んでいます。ここでは、6月下旬から7月中旬に収穫できる、レイシ(ライチ)についてご紹介します。

### 1. レイシとは

レイシは中国南部原産のムクロジ科の果樹で、ライチとも呼ばれています。現在は中国や東南アジアのほか、ハワイやフロリダなど世界各地で栽培されています。日本では、中国や台湾産の冷凍果実が多く流通しており、一部九州や沖縄で生産された生果も出回っています。新鮮な果実は冷凍品よりも風味がよく、果皮の紅色も鮮やかです。小笠原では6月下旬から7月中旬にかけて収穫が可能で、新たな特産果樹として期待できます。

### 2. 農業センターの取り組み

レイシは常緑性の中高木で、樹高は10メートル近くまで達しますが、作業性の面から、樹高を低く抑える必要があります。また、父島ではオガサワラオオコウモリによる食害を防止するため、プラスチック製ネット設置や施設栽培といった対策が必要となります。

これまで低樹高を保つために強い剪定を行うと花芽が付きにくくなるという問題があり、経済栽培には安定的に開花・結実させる技術が不可欠です。農業センターでは、7月下旬に剪定を行った後、10月初旬に枝直径の5分の1幅で亜主枝を環状剥皮すると花芽分化を誘導することができ、開花期は翌年3月から4月となりました(図2)。



写真1 レイシ果実(左)と環状剥皮処理(右)

また、品種「クロバ」では、剥皮処理を行った亜主枝の直径が太いほど、花芽形成率が高くなる傾向がありました。

今後は、環状剥皮の処理条件の検討を行います。また、「ギョッカホ」、「クロバ」、「ジャカパット」の3品種について、果実品質を中心に品種比較を行います。〈窪田〉

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
← 開花期 →			← 果実肥大期 →			← 収穫期 →		← 環状剥皮 →			
施肥			施肥			剪定 施肥					

図2 レイシの栽培暦

### 農業者セミナーのお知らせ

8月から意欲ある農業者を対象とした農業者セミナーを開講します。

今後の予定は以下のとおりですが、詳細については「村民便り8月号」でお知らせします。

8月 植物の病害管理      10月 農業資材の活用方法      11月 農産加工と関係法令  
12月 施設園芸における環境制御      1月 農業経営      2月 食品加工 (以上全6回)

不明な点は、農業センター(担当：窪田)までお問い合わせ下さい。(電話 04998-2-2104)

2013/7/22

## ～ 第13回パッションフルーツ品評会の審査講評～

6月9日(日)に「第13回パッションフルーツ品評会（JA東京島しょ小笠原父島支店主催）」が開催されました。審査は村役場産業観光課および小笠原支庁産業課（農業センター含む）の職員で行いました。出品は出荷箱部門のみで行われ、母島10点、父島1点のあわせて11点が出品されました。（昨年度は7点）。審査では、果実の色合い、つや、大きさ等の揃い、病虫害や傷の有無等の商品性を総合的に評価しました。



写真1 審査風景



写真2 金賞 福田農園の出品

出品物は、いずれも甲乙付け難い優良品でしたが、特に金賞に入賞した出品物は充実した果実で重量感があり、揃いも良く、果実の着色も良好なものでした。

年々、栽培技術および荷姿が向上し、審査で甲乙つけることに苦労しています。この品評会が、個々の生産者にとって栽培技術の向上や再確認につながり、小笠原パッションフルーツのブランド力の向上に寄与していると感じています。

### < 審査結果 >

金賞	小笠原村長賞	母島	福田農園
銀賞	小笠原支庁長賞	母島	濱崎農園
銅賞	島しょ農協組合長賞	母島	小松武人農園
	審査員特別賞	父島	友野農園

今年のパッションフルーツの作柄は、電照をかけた促成栽培では1～3月の気候が良く、開花期は順調でしたが、果実成熟期の4～5月が涼しかったことから収穫盛期が例年よりも遅くなりました。また、露地栽培でも開花期から肥大期の低温により収穫開始が遅くなっています。しかし、この気象条件により、じっくり時間をかけて熟した品質の良い果実が出荷され、例年以上に好評でした。

6月22日の父島返還祭において、審査委員長（農業センター所長）から審査結果および講評を報告いたしました。受賞者の皆様、おめでとうございます。 <網野>



写真3 毎年好評の即売会

農業センターニュースは小笠原亜熱帯農業センターのホームページにも掲載しております。

検索

小笠原支庁 → 小笠原亜熱帯農業センター → 農業センターニュース